

怪獣達の幻想暮らし

ドイツかぶれ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

紫に転生させられた怪獣達の暮らし、幻想郷は平和だし怪獣達も案外穏やかなもので、心配は無いかもしれないな

*ゴジラ時系列はシンゴジラ及びハリウッドゴジラ以外一つの時系列に突っ込んだのでちよくちよく設定変えています、説明はちゃんと入れるつもりなので許しは請わん、恨めよ

目次

怪獣王の博麗暮らし

1

怪獣王の博麗暮らし

俺はゴジラ、メルトダウンしてまあ、死んだ訳だ

走馬灯つてのが見えないので、自分で生き様を見返す事にしたんだ

んゝ

思えば悪い事ばかりでもなかった、問題は悪い事はとんでもなく酷かった事だ

ミニラもリトルもイジメられるし、ヤバイ薬はバケモンになるし挙句自分はメルトダウン

何だそれ

暗いな、進んではいるが何も無い、何でも死んだら川に行くらしいがどこにも無い
なんかいるな、人間か？

にしては強そうな気配だな

？「あら、やっと来たの」

何だこいつ

？「失礼ね、貴方をここに連れて来たのは私よ？」

は？どう言う事だ

宇宙人か？

？「貴方がいい加減喋ればどうかしら？せっかく身体の形だけ人間にしたのよ、力は変わらないし、頑張れば怪獣になれるけれどもね」

久し振りに混乱している…どう言う事だ？

喋る？吹き出しじゃなくてか？

？「そうそう、今のうちに身体を見ときなさいな、加賀ぐらい出したげるわよ」

鏡…これか？

ふーん、久し振りに背びれが成長してるかどうか見る…

んー？

ふむ

は？

え？これ…俺？

ちよ

? 「私の趣味だけど、まあ可愛いでしょう?」

「ど…」

「どう言う事だよオ!!」

? 「やつと喋ったわね」

ゴジラ 「宇宙人だなテムエ! X野郎か? ゴキブリか? 猿野郎か? それともキラアクか
!?!」

? 「紫よ」

ゴジラ 「紫イ? どちらにせよ人間じゃねえんだろう…」

紫 「まあ、それで暮らしてみなさいな、幻想郷は誰だつて受け入れるとも」

ゴジラ 「どこ行きやがる! オイこら!」

ゴジラ 「明るいな…こつちか?」

ゴジラ 「何だここは? 神社つてヤツか?」

? 「何よアンタ」

ゴジラ「あ？俺はゴジラだ、てめーは誰だよ」

？「霊夢、博麗霊夢よ、ゴジラ？聞いた事ある様な…」

ゴジラ「ここは何なんだ？日本…だよな？」

霊夢「日本？ここは幻想郷、国には属さないと思うけれど」

ゴジラ「幻想郷？」

霊夢（ゴジラ…尻尾…背びれ…）

「アンタが紫の言ってたヤツの事ね…」

ゴジラ「あ？紫？知ってるのか？」

霊夢「ただの知り合いよ、それよりアンタ本当にゴジラね？」

ゴジラ「そうだよ」

霊夢「はあ…また同居人が増えるの」

ゴジラ「同居人？」

霊夢「そうよ、あんたはの家は今日からここよ」

ゴジラ「は？」

霊夢「紫があんたの住処をここにしろって言ったの」

ゴジラ「何でだよ！」

霊夢「面白いかも、だそうなの」

ゴジラ「拒否したら？」

霊夢「知らん」

ゴジラ「はあ…もおいいや、ここで暮らしゃいいんだろ」

霊夢「そうな、はあ」

(面倒ごと…起きないわけなさそうね…)

ゴジラ(何なんだ全く…面倒事ばつかの生き様なもんだ)

怪獣王…王女は新しい暮らしが始まるらしい、まあゴジラだけで済む訳もないだろう、残念だが面倒事はこれからも大量に待ってるだろうしね

見ている分にも退屈は、ないだろう